

# 青葉福まちだより

第21号（年一回発行） 発行者：青葉地区社会福祉協議会・青葉地区福祉のまち推進センター



令和6年1月21日（日）こども雪中運動会

## 青葉地区社会福祉協議会会長 土田 義也

若いときと違い、私のような年齢になると月日の経つのが、本当に早く感じられます。元旦に新たな年に願いを託し2024年がスタートしましたが、石川県能登半島沖を震源とする最大震度7の地震に見舞われ、早や3か月を過ぎようとしています。

亡くなられた方のご冥福と、被災された方々の一日も早い復興を願っています。

北海道においても、2018年9月6日の胆振東部地震が記憶に新しいところです。

また大規模地震は、約30年前の阪神淡路大震災が1月、東日本震災が3月、熊本地震が4月などと、比較的寒い時期に起きています。

札幌市では、厳冬期での本格的な災害訓練は行ってこなかったことから、青葉自治連では2月17、18日厳冬期に地震が起きたら、どのような状況になるかを体験してもらうため「親子で避難所宿泊体験」を青葉会館で実施し、沢山の知識と備え、教訓を得ました。

今後、約40年以内に90%程度の確率で発生するとされる南海トラフ巨大地震では、国民の半数が被災すると言われていています。

幸いこの度の地震では、死者の数は阪神淡路の地震に比べると少なかったかもしれませんが、もし厳冬期の北海道を大地震が襲ったら、より多くの犠牲者が出ることでしょう。

わたしたちも「対岸の災害」とすることなく、自分に置き換え、他人事と思わず、この機会に是非もう一度考えてみることも大切ではないでしょうか。



## 福まち健康づくり講座 「頻尿の悩み改善と予防」

令和6年1月17日（水）青葉会館において、花王グループ カスタマーマーケティング(株)様のご協力により『頻尿』をテーマとし講義を開催しました。

当日は、厳冬の中、32名の出席のもと、同社の了舟（りょうしゅう）美菜子様より、「尿モレ」のちょびっとモレ（腹圧性尿失禁）、間に合わない（切迫性尿失禁）ちょろちょろモレ（溢流性尿失禁）の尿漏れのタイプ別の説明がありました。

また、尿漏れ防止のため、座りながら・寝ながらできる「骨盤底筋トレーニング」、体の状態に応じた尿漏れに対する給水ナプキンやリリーフ（パンツタイプ）の紹介や選び方等について、ご自身の家族の例などを交えながらの講和でした。



## 子ども雪中運動会

令和6年1月21日（日）青葉会館に隣接するD団地駐車場において、子どもたちによる運動会として3年ぶりに開催されました。

子どもたちは「宝さがし」「ざぶとん とり」「ラダーゲーム」などに果敢に挑戦し、最後にたくさんさんの参加賞を手に歓声をあげていました。

特に小学生にとっては、冬休み最後のひと時を謳歌したようです。

## 新型コロナ感染防止対策事業（マスクの配布）

今年度も、令和3年度及び4年度に引き続き、新型コロナ感染予防対策の一環として、北海道共同募金会の助成金を得て、70歳以上の一人暮らし974人を対象に不織布マスク（1組20枚入り）を青葉地区民生委員児童委員協議会の協力により配布しました。



## 福まち講座 「地域での支え合いに向けて」

令和6年3月7日（木）青葉会館において、北星学園大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 畑 亮輔 様をお招きして『地域での支え合いに向けて』をテーマとして講演会を開催しました。

今後の日本が、「人口の減少」「少子・超高齢化」「ケアマネージャー、ホームヘルパー等の介護保険サービスを担う人材不足」が加速し、高齢者福祉を取り巻く状況が非常に厳しい状況となることから、地域での支え合いの必要性について、丁寧にかつ分かりやすく説明していただきました。

講演の後、このような状況を踏まえて、札幌市が平成30年から取り組んでいる「札幌市生活支援体制整備事業」について、同事業の第2層生活支援コーディネーターとして青葉地区を担当する千葉 由希 様より事業の概要についてお話をいただきました。

今後、高齢化とともに一人暮らし高齢者の増加が見込まれる青葉地区において、公的機関や公的サービスの対象とならない様々な事案（困りごと）に対して、身近に住む地域の方々による支え合いの必要性がより高まっているのではないのでしょうか。

このため、『青葉福まち』では、今回の福まち講座をスタートとして、地域での支え合いに向けて、来年度以降、皆様とともに、その取り組みを進めてまいりたいと思います。



## 令和5年度の福祉除雪の状況

本年度の福祉除雪の申請者は、新規の申請が7世帯（前年度16世帯）となり、全体では48世帯、前年度に対して4世帯の減少となりました。

48世帯のうち33世帯が地域の協力員15名（前年度16名）の皆さんに担っていただいております、残る15世帯を2社の協力企業により実施しました。



## 青葉小学校校舎の解体が終了しました

昭和43年（1968年）に下野幌小学校として開校し、上野幌小との統合化により 令和2年に閉校となり、50年余りの歴史に幕を閉じました。今年度に行った校舎解体の状況を撮影したものです。



令和5年8月22日撮影 建物内の解体を終え、建物解体前です。



令和5年11月30日撮影 体育館の解体を終え校舎本体の解体中です。



令和5年12月26日撮影 解体・廃棄物の搬出もほぼ終え、更地となっています。  
跡地の活用については、民間への売却の方向で、その条件等について検討を進めています。

### 編集後記

青葉福まちだよりの第21号をお届けします。

青葉地区社会福祉協議会（福まち）事務局一同 千葉 山本（廣）

[ 写真提供：青葉まちづくりセンター ]

所在地：札幌市厚別区青葉町4丁目10-27 電話&FAX：011-893-2055